

第1回 ENGase 研究会のご案内

エンド-β-N-アセチルグルコサミニダーゼ (ENGase) は、N-型糖鎖の還元末端の GlcNAc の間を切断する酵素であり、これまで ENGase に関する数多くの優れた研究が日本から発信されてきました。一方、ENGase の実用化研究も進み始めており、今後ますますその基盤的研究が重要になると考えられます。

そこで日本の ENGase 研究者が集い、この度 ENGase の諸性質や機能、産業利用等に関する勉強会を開催することとなりました。本酵素の研究をされている方はもちろんのこと、ENGase にご興味のある方はふるってご参加ください。

第1回 ENGase 研究会

日時：7月30日(木) 13:00~17:30

場所：理化学研究所 大河内ホール (〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1)

<http://www.riken.jp/access/wako-map/#anchor2>

プログラム

13:00-13:05 はじめに

産総研 千葉靖典

講演 (25分+5分質疑応答)

13:05-13:35 理化学研究所 鈴木 匡

「哺乳動物の脱糖鎖酵素 (PNGase/ENGase) の生物学的的重要性」

13:35-14:05 大阪市立大学 伊藤和央

「Native な糖タンパク質からアスパラギン結合型糖鎖を遊離する ENGase」

14:05-14:35 岡山大 木村吉伸

「植物組織に存在する遊離糖鎖のタンパク質フォールディング促進活性」

14:35-15:05 理化学研究所 山口芳樹

「ヒト髄液中に存在する糖タンパク質の構造解析」

15:05-15:30 (休憩)

15:30-16:00 石川県立大 山本憲二

「部位特異的変異によるエンド-M酵素の機能改変」

16:00-16:30 群馬大 松尾一郎

「新規 ENGase 探索に向けた FRET 型基質の合成」

16:30-17:00 産業技術総合研究所 千葉靖典

「酵母由来 ENGase の機能解明と産業利用」

17:00-17:30 野口研究所 白井 孝

「均一糖鎖構造を持つ糖タンパク質合成法の開発—トラスツズマブを例として—」

参加費：無料 申し込みの必要はありませんので、直接会場にお越しください。

終了後、懇親会を予定しております。参加希望の先生は、7月23日（木）までに山口芳樹

(vyoshiki@riken.jp) 宛ご連絡ください。

第1回 ENGase 研究会 世話人 鈴木匡（理研）、山口芳樹（理研）、千葉靖典（産総研）